

文部科学大臣賞

持病と生命保険

静岡県 静岡市立安東中学校 三学年

百竹 陽奈子

「私は生命保険に入れない。」

そのことを知ったのは、中学生になってからだだった。生命保険は、誰でも入れるものだと思うっていたので、とても驚いた。

私は、一人に一人が発症するといわれている、先天性の難病を患っている。私のように、持病を持っている人には、入れる保険がないそうだ。しかし、最近の生命保険会社のコマースィアルを見ていると、「持病を持っている人でも入りやすい」という宣伝をしているものがある。本当に持病を持っている人が入れる保険はあるのか気になる。私は、県の小児慢性特定疾病医療費助成制度や、こども医療費助成制度にお世話になってきた。しかし、これらの制度を利用できるのは、前者は最大あと五年、後者は今年までだ。この機会に、一度生命保険について、調べてみようと思う。

結果、持病を持っている人でも、入れる保険があった。その前に一つ分かったことがある。それは保険の種類についてである。生命保険と一言でいっても、定期保険、養老保険、終身保険の三つのタイプがあった。更に保障にも、医療保障、老後保障、死亡保障の三つあった。各保険会社の保障の内容、特約、保険料、対象としている人などを一つ一つ見ていくと、膨大な量の情報が集まった。中には、人間ドックの結果や、運動量によって、保険料の割引や、プレゼントをもらえるプランもあった。今、保険はとも多様化している。万が一の時に、頼られる保険だけではなく、加入者の健康維持を応援する保険があることも知った。高齢者が増えていく日本にとって、保険も健康寿命を延ばす手助けとなっていることはとても良いことだと思った。

いよいよ本題。私が最も知りたかった、持病を持っている人でも入れる保険についてだ。生命保険協会に加盟している保険会社四十一社を調査した。その中で、持病を持っていても入りやすい保険プランがあるのは、十六社だった。この中で私が入れるのは、半分以上の七社だった。持病を持っている人が全員入れるのではなく、いくつかの条件をクリアしないと入れない。また、これらのはほとんどは、持病のない人達が入る一般的なプランと比べて、料金を高く設定してあるという特徴があった。ホームページ上に、月々の保険料を載せている十二社の、持病がある人のためのプランと、同じ会社の一般的なプランの最低金額との差を求めた。どちらも三十歳女性、医療保障という条件にそろえ、

第56回中学生作文コンクール

平均を求めたところ、一般的なプランと比べ、約千九十五円高いことが分かった。

これらのことから、保険会社も、私達持病を抱える人のために、プランを用意してくれているが、保険の収支を成り立たせるために、料金を一般的なプランと比べ、高くせざるを得ない。安い料金でも、沢山の人が加入すれば、多くの人を支えられる。しかし、沢山のお金を必要とする可能性が高い人を支えるには、同じ境遇の人達で、沢山のお金を出し合うしかないのだ。

私は正直、この結果が出た時は驚いた。自分が想像していたよりも、多くの会社が、低料金でプランをつくっていたからだ。

しかし、私は、もっと多くの人が、保険に入ることが出来ると良いと思う。私は、将来の夢がない。良いなと思う職業があっても、体力的な問題であきらめたり、不安定だからという理由で、その考えを白紙に戻したりする。持病を持つ人は、必ず、通院費と、万が一、入院した時のための貯蓄を稼がなくてはならない。もちろん、持病を持っていても、挑戦する人はいる。でも、私は出来ない。万が一を恐れているからだ。挑戦出来ない人は、私だけではないはず。挑戦を支え、背中を押してくれる存在の一つが保険だと思う。みんなが、悔いの無い人生を送るために、持病を抱える人のためのプランを、増やして欲しいと思う。